

令和7年度 第2回 加古川市地域公共交通活性化協議会 議事概要

○開催概要

開催日時	令和7年6月6日（金） 午後3時から午後3時50分まで
開催場所	SHOWAグループ市民会館 大会議室
出席者	委員21名中18名（代理出席1名）、オブザーバー8名、事務局6名、傍聴2名
議事次第	1 開会 会議の趣旨 出席状況報告 2 議案 議案第1号 加古川市地域公共交通計画について 議案第2号 加古川市地域公共交通計画策定調査業務委託に係る 公募型プロポーザルの実施について 3 閉会

○議事概要

■ 議案第1号 加古川市地域公共交通計画について

<説明概要>

地域公共交通計画は将来のまちづくりを見据えた公共交通のマスタープランであり、当該計画に基づき持続可能な公共交通網の形成が図られることを目的としている。計画区域は加古川市域とするが、周辺自治体と連携した広域交通の検討も行う。計画期間は10年とする。なお、計画策定にあたっては、令和7年度に、地域公共交通の現状・問題点や課題の整理、基本理念・基本方針の検討、令和8年度に施策体系の検討、交通施策・事業内容の検討、評価指標・計画目標の検討を実施し、令和9年3月の策定を予定している。

<意見・質疑応答>

(事務局) 会議の回数は案として示している。計画策定を進める中で様々な議題があるため、都度調整する可能性がある。

(委員) 近隣市町との連携を図るということであるが、高砂市でも令和7年度末を目標に計画策定を実施している。加古川市は1年後になるが、しっかり連携してもらいたい。また、現在、国では交通空白の解消を掲げて様々な事業を行っているが、自動車運送事業の担い手がどんどん減少している。そのような状況も踏まえて、今後10年の交通をどうしていくかという議論が必要である。

(委員) 計画期間10年と長期間になるが、現行計画（地域公共交通プラン）の評価や次期計画（地域公共交通計画）における効果検証についてどのように考えているか。

(事務局) 現行計画における数値指標について、各項目の達成状況を確認したうえで施策等の評価を実施する。また、次期計画については、交通を取り巻く環境が短期間で大きく変わっている状況の中で、PDCAをしっかりと実行していけるよう検討したい。

(委員) 実績との乖離をチェックする等、課題を修正しながら取り組んでほしい。

<議決> 議案第1号

原案承認 ※委員 17 名中、17 名（全員）が同意

■ 議案第 2 号 加古川市地域公共交通計画策定調査業務委託に係る公募型プロポーザルの実施について

<説明概要>

加古川市地域公共交通計画策定調査業務は、将来のまちづくりを見据えた持続可能な地域公共交通網の構築を目指し、加古川市における交通の現状と課題の整理や、基本方針等の検討を目的に実施する。なお、本業務の委託にあたっては、価格のみではなく事業者に係る業務実績、専門性、技術力、企画力、創造性等を勘案し、総合的な見地から最適な事業者と契約する必要があることから、プロポーザル方式を採用する。提案限度額は 13,500,000 円で、契約候補者等の選定については、プロポーザル選定委員会を設置し、企画提案書等及びプレゼンテーションの内容を審査し決定する。6 月 11 日頃から募集を開始し、8 月 8 日の契約締結を目指す。

<意見・質疑応答>

(委員) 参加資格要件等の業務実績で、同種及び同程度とあるが、もう少し明確にしてもいいのはいいか。類似業務として、地域公共交通計画関係で好事例を集めた経験、都市計画マスタープラン等幅広く記載してはどうか。

(事務局) わかりやすい形に記載内容を修正する。

(委員) 選定委員会の委員選定スケジュールはどうか。

(事務局) 本会終了後、速やかに選定委員会設置要領に基づき進める。

(委員) プロポーザル仕様書に地域公共交通活性化協議会の支援で、会議 3 回を予定とあるが、複数回会議を予定している中のどの段階か。

(事務局) 9 月・12 月・2 月の 3 回を予定している。

(委員) 策定段階でどこまで様々な方が関わるかが重要であるため、調査を通して現状の把握をした段階でフィードバックできないか。

(事務局) 9 月頃に地域公共交通の現状や問題点・課題の整理、12 月にアンケート結果からの課題抽出をテーマに活性化協議会で協議いただく予定である。

(委員) 現行計画の評価についても、9 月頃の活性化協議会で共有されるのか。

(事務局) 現行計画は令和 8 年度末までの目標設定であるため、見通しが立った段階で共有する。

<議決>議案第 1 号

原案承認 ※委員 17 名中、17 名（全員）が同意

以上